

# 町政一般質問通告一覧表

平成30年12月定例会

平成30年12月18日

番号	質問事項 (件名)	質問の要旨		質問の相手	議席番号 氏名
	1	学校検診の充実について	①	中学生を対象としたピロリ菌感染検査の導入は、教育委員会と協議しながら国が示す指針を参考に検討すると昨年の12月議会の一般質問で答弁されているが、検討されたのか伺いたい。	町長 教育長
②			ピロリ菌感染検査について、国際機関・国内の専門部会が発表している指針について、どのような見解か、また、学校検診に取り入れている自治体が増えているが、導入について伺いたい。		
新年度の農業政策について		①	認定農業者など生産能力の高い後継者の育成とか生産基盤の整備を促進しながら安定した生産供給ができるような体制を推進すると平成27年12月議会での一般質問で答弁されているが、今日まで特別な振興策が打ち出されたとは考え難い。新年度の農業振興策について伺いたい。	町長	
		②	中山間地域等支払事業の第4期対策も平成31年度で終わる。第5期については国の方針も示されていないが、現在の協定集落が持続的に組織活動ができるような支援について伺いたい。		
町道の維持管理体制について		①	山間部の町道は法面の雑木や雑草が生い茂り、車両の通行にも支障を来している箇所が多く見受けられる。 このような状況を把握されているのか伺いたい。	町長 担当課長	
		②	町道は公道であり建築基準法上の道路で、国・地方公共団体が所有権を有しており、かつ維持管理を背負っていると定義されている。 日頃からの維持管理体制を充実すべきと考えられるが、見解を伺いたい。		
2	働き方について	①	本年7月1日の人事異動で、住民福祉課長に特命ともいえる「生涯活躍のまち推進業務支援を命ずる」辞令を発令された。第6次佐々町総合計画・後期計画（平成28年度から32年度まで）の中での何をしようとされているのか。	町長	8番 須藤 敏規 (一問一答)
		②	防災拠点としての役場庁舎建て替え問題は、重要課題の一つと認識している。 国においては、幾多の災害復旧を教訓に補助、起債制度を創設し早期の対応を打ち出している。選挙後、残り2年あまりしかない。任期中に仕上げる考えはあるのか。		
		③	公務員の副業が禁止されているが、地域活動の担い手として可能とする考えはないか。		
		④	入管法改正案が論議されているが、早め早めの対策をとるべきと考える。行政、雇用問題、町内会などの影響はどのように考えておられるのか。		

番号	質問事項 (件名)	質問の要旨	質問の相手	議席番号
				氏名
3	林道や河川敷の草刈り等の道路整備について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内には林道が多くありますが、例えば林道古川真竹谷線、林道大茂市瀬線を通ると、夏場はセイタカアワダチソウやススキなどが、道路を塞ぎ、普通乗用車では行けないので、草刈りは年に2回位は実施すべきと思いますが、お考えをお尋ねしたい。</li> <li>・道路のアスファルトに亀裂が入り、亀裂から草が伸びています。現況は把握されていると思いますが、地滑りの危険性はないものかお尋ねしたい。</li> </ul>	町長	2番 浜野 亘 (一問一答)
	町民の健康づくりと介護予防事業について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第7回健康寿命を伸ばそう！アワード&lt;介護予防・高齢者生活支援分野&gt;で最優秀賞を受賞されたと報告を受け、平成22年から介護予防事業を進めてこられ、ボランティアのご理解とご協力があって今回受賞されたと思います。</li> <li>・介護予防事業は概ね65歳以上を対象とされているので、40歳以上の方の健康づくりから始めれば健康寿命が伸びると思います。今後の方針についてどのようにお考えなのかお尋ねしたい。</li> </ul>	町長	
	ふるさと納税の実績とPRの方法について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税の寄付につきまして、9月補正予算で大幅な増額をされましたが、現在の寄付額の状況、また、佐々町出身など関係が深い方等の過去の統計をお尋ねしたい。</li> <li>・他市町村では寄付金の争奪戦により、過度な返礼品は良くないと総務省では基準作りをされています。過去の周知の方法は、広報紙やホームページ等でPRをされたと思いますが、具体的な説明と今後はどのように取り組んでいこうとお考えなのかお尋ねしたい。</li> </ul>	町長	
	西九州させば広域都市圏連携事業について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月になって議会に示された、クルーズ船入港体制整備、統合型リゾート誘致推進等について、事業内容の個票はなく、項目と概要だけで良しとされた理由をお尋ねしたい。</li> <li>・本町が抱える課題は、追加を認められないまま4項目が追加されたが、費用の負担はないとのことですが、他には負担が生じないものかお尋ねします。</li> </ul>	町長	
4	1、観光行政について	<p>① 今後の町の観光の方針と施策は。</p> <p>② 観光協会の運営補助と所管課との在り方について。</p>	町長	9番 川副 善敬 (一問一答)
	2、児童虐待の防止と安全確保について	<p>① 東京目黒で結愛(ゆあ)ちゃん(当時5歳)が、2月に虐待され死亡した後も各地で事件が多発しているが、その後の政府の緊急防止対策のポイントと市町村の取り組み強化体制は。地域社会での子育て支援と見守りは。</p> <p>② 児童虐待防止法の改正の要点は。 厚生労働省の社会保障審議会ワーキンググループが素案をまとめたが、具体的な対策は。</p>	町長	
	3、企業誘致と工業団地の造成について	<p>① 平成25年に工業団地用地としてSSKからクリーンセンター隣地19ヘクタールを1億500万円で購入し5年半経過したが事業の進展がみられない。開発、誘致は如何に。</p>	町長	

番号	質問事項	質問の要旨	質問の相手	議席番号
	(件名)			氏名
5	1. 防災対策について	地震や集中豪雨等による災害に備え、平時からの防災の心構えや地域での連携が重要と思うが、現在の防災対策について下記の項目により考え方を伺う。	町長	1 番 永安 文男 (一問一答)
		① 佐々町地域防災計画の見直しを行うとのことだったが、その進捗状況は。また、佐々町防災職員初動対応マニュアルの改訂、災害時の業務継続計画（BCP）の策定はどうか。		
		② 現在進められている、佐々町総合ハザードマップの作成状況と考え方は。		
		③ 町に対する防災意識調査に係る、町に望む防災対策はどういったものがあるか。		
		④ 災害対応力の強化として、有事の際には的確に対応しなければならないが、その体制の検討はされているか。また、防災訓練等を通じて知識・技術の普及啓発、情報伝達や避難応援要請等の体制の充実、町独自の防災避難訓練を実施する考えはないか。		
		⑤ 地域防災活動の担い手となる、防災士・地域防災リーダーの育成をどうするのか。		
		⑥ 自主防災組織の現状と活動はどうか。		
		⑦ 土砂災害対策に係る急傾斜地の安全性はどうか。		
5	2. 道路網の計画について	防災対策の指令本部となる重要な施設である、役場庁舎の建て替え・建設計画についてはどう考えているか。	町長	3 番 永田 勝美 (一問一答)
		① まちづくりの観点から、町全体の道路網の策定計画の考え方とスケジュールは。		
		② 今後の発展の礎となる、大新田地区の道路整備の対応はいかに。		
		③ 地域生活に密着した生活道路の安全対策、防災対策の面から道路整備をどう考えるか。		
6	①町内交通の整備について	現状の、高齢者外出支援について、利用率が低い現状をどうとらえているか。使い勝手をよくするためには何が必要と考えているか。	町長 教育長	3 番 永田 勝美 (一問一答)
		② 児童・生徒の下校時の「ひとり帰り」の実態について、改善の手立てはどうか。		
		③ 「買い物が不便」という、町民の要望にどう答えるか。		
		④ 町内循環バスの有用性について、どのような研究がされてきたのか。		
		⑤ 消費活動を含めた経済効果など多面的な検討が求められている。福祉施策として、拡充を求める。		

番号	質問事項 (件名)	質問の要旨		質問の相手	議席番号 氏名
6	②教育環境の整備 について	①	小学校のグラウンドの使用状況と「水はけ」対策について。	町長 教育長	3 番 永田 勝美 (一問一答)
		②	小中学校・給食費無料化の検討について。		
	③国保制度の改善 に向けて	①	国保税が高すぎる現状認識。世帯割・均等割の是正をなど、協会けんぽ等との不均衡是正を問う。	町長 関係課長	
		②	多子世帯への保険税軽減について。 「44条減免」(窓口一部負担減免)要綱整備に伴う町民への周知について。 資格証明書・短期証発行状況と、その改善方向について。		
	④原発問題と災害 対策について	①	原発問題について、自然エネルギー普及について。	町長 関係課長	
		②	各種の災害対策について。①防災無線 ②避難所の整備 ③洪水・高潮対策 ④「災害弱者」対策 ⑤防災訓練の取り組みについて。		
7	桜について	平成16年・17年に桜の里づくりで植栽されてから13年が過ぎようとしています。大きく成長している樹木もあれば、枯れてしまった木も沢山あります。成長した樹木を生かし、各公園の桜の生かし方を考えてみたらどうか。例えば菖蒲園の周りの桜について、10月桜が10本ほどありますがそこに、四季桜を10本ほど植えて紅葉と桜が同時に見られる公園にしたらどうか。皿山公園についても、管理棟の処又窯体験施設の前など、今ある桜に何本かの桜を植えることで大きく変わりますが、どうですか。桜堤の河津桜についても枯れた桜の後に植えることでより一層ボリュームが出ますがいかがですか。		町長	6 番 橋本 義雄 (一問一答)
	菖蒲園について	作業班の方々に管理をされ毎年綺麗な菖蒲が咲いています。長崎県では、大村に次ぐ北松の菖蒲園という事で地域の皆様から毎年期待をされています。しかしながら、毎年株分けをするたび、色がかたよってきました。新しい品種を取り入れるとか、大村市さんに相談して株を分けてもらうとか、株分けのとき色を選別して植えるとか方法を考えたらどうでしょうか。作業班は大変でしょうけど。		町長	
	シロウオ祭り・米造り体験について	毎年シロウオ祭りが行われているわけですが、昨年は産業経済課がシロウオ体験を行われ、今年は地域おこし協力隊の方で行われ、じゃ来年は誰がこの行事をおこなうのか。その実績はどうだったのか地域おこし協力隊の方が行っていた米つくり体験はどうなるのか。		町長	